

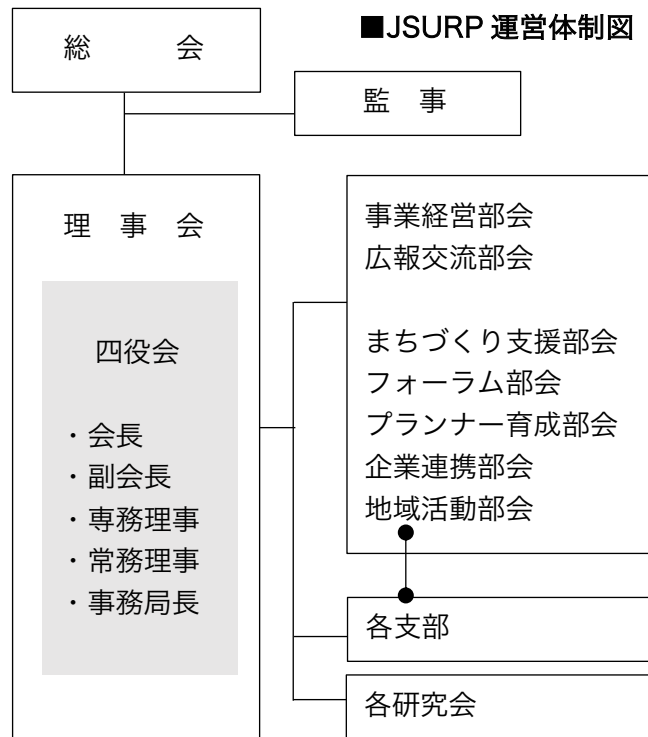
今週の News

- 2022 年度の JSURP 運営体制
- 部会の方針と体制 まちづくり支援部会
地域活動部会
企業連携部会
- JSURP 主催イベントの報告
これからのまちづくり研究会
50 年後を見据えた東京の復興ビジョンを考える
- 研究会の開催案内

■2022 年度の JSURP 運営体制

2022-2023 年度の JSURP の活動全体のマネジメント体制は、理事会（及び四役会）、第 21 回総会で提示した 7 つの部会、各支部、各研究会を基本として運営していきます。7 部会の具体的な事業内容について、JSURP News でお知らせをしていきます。

全ての会員の方々には、部会や研究会に参加し、共に活動を進めていくことが期待されています。部会・研究会に関する不明な点等、事務局まで問い合わせてください。



■まちづくり支援部会の方針と体制：文責内山理事

2022 年度第 1 回まちづくり支援部会を 2022 年 7 月 11 日に開催しました。

1. 4 つの基幹的な事業

まちづくり支援部会の部会長を務める内山です。まちづくり支援部会では以下の 4 つの基幹的な事業を実施します

①地域主体のまちづくり推進事業（幹事：内山征理事）

団体や自治体からの要望に応じて講師を派遣し、まちづくりの初動期を支える出前講座を始め、みんなのまちづくり NOTE の作成・公表などを行います。

②まちづくり相談事業（幹事：安藤裕之理事）

自治体や一般の方、企業から都市計画やまちづくりに関わる相談を受ける窓口を開設しています。寄せられた相談に専門性を持つ会員等が対応する事業です。

③日本都市計画家賞事業（幹事：江田隆三理事）

2 年に 1 回まちづくり団体を表彰する事業で、今年度は 2023 年度の実施に向け内容の充実を図ります。

④災害復興支援事業（幹事：神谷秀美理事）

災害復興の直接支援を行います。また、大規模災害に備えて、支援体制づくりや人材育成を行います。

2. 新たな活動のチャレンジ

今年度から、若手の会員が企画し、若い世代向けの活動を立ち上げていくので、是非、ご参加ください。

■地域活動部会の方針と体制：文責坂井副会長

第 1 回を 2022 年 7 月 4 日、11 日にオンラインで開催しました。出席者は、近藤洋介、海野芳幸、木村静、小林真幸、中西正彦、益尾孝祐、園田聡、山本俊哉、高鍋剛、千葉葉子、坂井猛の 11 名でした。

第一に支部活動の停滞を招かないためにも、支部活動よりは「地域活動が先にあるべき」であり、まちづくりカレッジ、地域デザイン研究会、出前講座、などと連動し、繋ぐ基盤として地域活動部会、支部があるべきとの共通見解を持ちました。部会や支部は、気軽に乗降り自由なプラットフォームとして、Do からはじめ緩くつながり、実際の業務と絡めることも有効でしょう。一方で、プランナーだけでなく、まちづくりに関心のある仲間を増やすツールとしての役割が、支部の立ち上げに向かう広島などの幾つかの地域で期待されています。

第二に全国まちづくり会議等の場を使って地域活動部会のセッションをたちあげることも重要ですので、担当幹事を中心に検討をはじめました。また、観光まちあるきなどのイベントを部会がバックアップすることの重要性を確認しました。

今年度は、坂井猛部会長、近藤洋介副部会長、海野芳幸幹事、木村静幹事で運用し、支部規程の検討など、必要に応じてメンバーに加勢していただく予定です。

■企業連携部会の方針と体制：文責原理事

2022年度企業連携部会は第1回を2022年7月8日に開催しました。(出席者：内山征、江井仙佳、小泉瑛一、原拓也、平井一步、&山本俊哉)

議論の結果、今年度は「まちづくりや地域社会の課題解決に関心を寄せる多様な分野の企業」をターゲットとした「協会の公式動画チャンネル」をつくらうと決定しました。その目的は「企業と地域連携による地域課題解決」であり、目標は「企業会員の増加」です。様々な企業が当協会に関心を寄せて頂くための「Jsulpの新たな入口」をつくらうという主旨です。

具体的なアイデアは様々あるかと思いますが。当面は現部会メンバーでサンプルを作成したうえで、部活動的な位置付けで制作に協力頂ける会員や、番組企画や出演に関して協力頂ける会員を募りたいと考えています。なお今年度は部会長を原拓也として運営することになりました。何よりも我々会員自身が楽しみながら、自身の思いや知見を語り合うことで、当協会の魅力を広く発信していければと思っています。関心ある方は是非ご連絡ください。(原拓也；takuva@spi.co.jp)

企業連携部会2022取組方針 2022/07 JSURP企業連携部会

1 THE JSURP CHANNEL 日本都市計画家協会 公式動画チャンネル & Podcast

ターゲット まちづくりや地域社会の課題解決に関心を寄せる多様な分野の企業

目的 企業と地域連携による地域課題解決

目標 団体賛助会員(企業会員)の増加

部会としての当面の主な活動

- 1) サンプル動画、Podcastの作成(現部会内)
- 2) 部活動「J-CHANNEL部」参加者募集
- 3) 番組企画や出演に関する協力会員募集

2 企業会員向け研修会 想定される次のニーズ

3 企業と地域の仲人役 協会会員の本領発揮

▲番組イメージ

- ・ZOOM録画やiPhone撮影等ごく簡単な制作方法
- ・専門外の方々も楽しんで観られる(聴ける)番組
- ・会員自身が楽しみながら思いや知見を語り合う

■これからのまちづくり研究会 第1回公開研究会～奈良県十津川村における村づくりプロセス～

これからのまちづくり研究会の第1回公開研究会が7月6日に東京大学工学部14号館で開催され、オンラインを含めて約80人が参加しました。

11年前、東日本大震災の半年後に起きた紀伊半島大水害における復興事業の当事者である被災者、地元団体、町当局、県、国、コンサルタント、アドバイザーの方々のそれぞれの関わり方と、それを包含する復興まちづくりのプロセスマネジメントに関する貴重なふりかえりのセッションとなりました。アドバイザー(蓑原さん)、国交省、奈良県、十津川村、コンサルタント、相互の率直な対話とフィードバックができる関係性こそが、現場で必要とされるスキームだと実感させられるセッションでした。

第2回(8月3日):村再生のための「高森のいえ」プロジェクト、第3回(9月21日):村づくり方針と戦略的プロジェクトの関係と続きます。



■公開シンポジウム「50年後を見据えた東京の復興ビジョンを考える」～復興で時代を先取りする～

JSURPと災害復興まちづくり支援機構の共同主催による「50年後を見据えた東京の復興ビジョンを考える」が7月8日に東京大学生産技術研究所で開催されました。

50年後の東京の人口構造の仮設を提示し、社会構造、居住者像、空間像、コミュニティ像、交通、エネルギー等の関連からの見通しをプレゼンした上で、後半に会場を交えたディスカッションが行われました。

このセッションの議論を深めていくため、パート2を10月の、墨田区で開催する全国まちづくり会議で実施する予定となっています。



■地域デザイン研究会の開催

日時：7月25日(月)18時～19時
開催方法：オンライン
議題：今年度の事業内容について

■第5回女性とまちづくり研究会の開催

日時：7月30日(土)午前10時～12時
開催方法：オンライン
申し込み：<https://forms.gle/1N57gZc1Jhik2T4q6>
参加費：無料

■これからのまちづくり研究会第2回の開催

日時：8月3日(水)18時30分～20時
開催場所：東京大学工学部14号館+オンライン
・問合せ・申し込み先
JSURP 常務理事 中川智之：nakagawa@artep.co.jp
参加費：無料

■7月後半の予定

- ①7月25日(木) 地域デザイン研究会
- ②7月27日(水) 全まち実行委員会(UDC すみだ)
- ③7月30日(土) 第5回女性とまちづくり研究会